

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	4093400044		
法人名	株式会社 ニチイのほほえみ		
事業所名	グループホーム ニチイのほほえみ太宰府		
所在地 (電話番号)	〒818-0134 太宰府市大佐野3丁目15番5号 (電話) 092-918-6681		
評価機関名	財団法人 福岡県メディカルセンター		
所在地	福岡市博多区博多駅南2丁目9番30号		
訪問調査日	平成20年8月19日	評価確定日	平成20年10月1日

【情報提供票より】(H20年7月29日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成15年11月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤 12 人, 非常勤 4 人, 常勤換算 4.5 人	

(2) 建物概要

建物形態	併設 / <input checked="" type="radio"/> 単独		新築 / 改築
建物構造	鉄骨 造り		
	2 階建ての	1 階 ~	2 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	68,000 円	その他の経費(月額)	円
敷金	有 (円)	<input checked="" type="radio"/> 無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	<input checked="" type="radio"/> (204,000 円) 無	有りの場合 償却の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	実費		

(4) 利用者の概要 (7月29日現在)

利用者人数	15 名	男性 6 名	女性 9 名
要介護1	1 名	要介護2	1 名
要介護3	8 名	要介護4	4 名
要介護5	1 名	要支援2	0 名
年齢	平均 81 歳	最低 74 歳	最高 96 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人 津田内科医院、鹿子生整形外科医院
---------	-----------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

職員が生き生きと働き、訪問しやすい家庭的な雰囲気が保たれた穏やかな気持ちになるグループホームである。平成19年11月に運営者が新しくなったが、会社の理念“誠意・誇り・情熱”のもと、これまでの理念“感謝・人を思い、人と笑い、人と泣き、人に寄り添うケア”もそのまま継承している。管理者は、利用者第一主義であり、メモリーケアの実践が実を結び始めた事を実感しながら、理想に向け熱い想いで取り組んでいる。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の評価報告書はわかりやすい場所に置かれているが、改善項目への取り組みがまだなされていない。自己評価も管理者だけの評価と思いに留まっている。評価の意義の理解と活用が望まれる。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>気負う事なく、ありのままを自己評価し、理想とする思いを数多く掲げており、管理者の仕事ぶりに躍動感を感じる。今後の取組みに期待したい。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>運営者・管理者の変更で、これまでやっていたことが足踏み状態であったが、一つひとつ取組み、地域の方、家族の方をメンバーに有意義な運営推進会議となりつつある。運営推進会議での意見をホーム会議で話し合い、サービスの向上ができるよう努めている。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部8,9)</p> <p>家族の面会の際に入居者の近況報告や生活歴等を伺っている。また、家族は、直接親会社支店の窓口に意見や苦情等が言える。意見や苦情はホームにフィードバックされ、対応方法や運営への反映となる。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>入居者は地域行事・地区の夏祭りに参加、職員は草取り・清掃や、公民館の高齢者食事に参加と、地域と交流している。また、太宰府市の市政だよりに掲載されているイベントに入居者と一緒に参加している。</p>

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	平成19年11月に運営者が変わったが、新しい会社の理念とこれまでの事業所「ほほえみ太宰府」独自の理念を継承している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎日の朝礼で会社の理念を唱和し、全員に浸透するよう努めているとの事であったが、職員は、会社の理念、ホームの理念、管理者のケアに対しての方針を明確に話す事が出来ない。		管理者は、会社の理念、ホームの理念、ケアに対しての方針を職員にわかりやすく説明し、理念の共有と実践に取り組む事が望まれる。
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	利用者の地域行事(夏祭り、高齢者食事会、敬老会)への参加を積極的に行っている。また、職員は、草取り・廃品回収等に参加して、地域の人々との交流に努めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回のサービス評価の報告書は置いてあるが、管理者、職員間での話し合いが行われておらず、評価を活かした具体的な改善への取り組みがなされていない。		自己評価、外部評価の意義を理解し、管理者、職員は話し合いの機会を設け、改善に取り組む事が望まれる。
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、活動報告やボランティアの依頼などホームの状況報告を行い、ホームへの理解が深まるように努めている。また、地域の方の出席で地域情報の収集や区長等から地域行事への参加の誘いなどの貴重な意見を頂いて、サービスの向上に努めている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	ホームに色々な質問や相談があった際には、市町村に相談し、状況報告しながら、連携を図っている。		
7	10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	数年前の資料はファイルされているが、それを職員は把握していない。また、過去1年間の研修記録や具体的な計画もない。		権利擁護事業や成年後見人制度の研修会への参加、ホーム内での学習会、資料を整備して、必要時に説明出来る体制が望まれる。
4. 理念を実践するための体制					
8	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	家族面会時に近況報告を行い、“ほほえみだより”の発行を年4回から月1回に増やして家族への報告を行っている。便りの半分は、個別の写真添付とコメントを記入し、より細やかな対応を行っている。		
9	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族は、フリーダイヤルで親会社支店に直接、意見の申し出が出来、支店よりホームにフィードバックされ運営に反映されている。		
10	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	入居者に異動による大きなダメージが無い様に配慮されている。		
5. 人材の育成と支援					
11	19	人権の尊重	入社して1,000時間過ぎた職員は、希望により実践者研修を受け、キャリアアップできる制度が適用されている。管理者も職員が積極的に受けることを望んでいる。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
12	20	人権教育・啓発活動 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	月1回のカンファレンスでも、高齢者の虐待(言葉、無視、ケアをしない)や平等について学び、入居者の人権の尊重に取り組んでいる。		
13	21	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	管理者は、職員との面談で仕事のやりがい、仕事への姿勢、人間関係、将来性・方向性をよく話している。会社のキャリアアップ制度や会社内外の研修にも積極的に取り組んでいる。		
14	22	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	薬局・医療・福祉等のメンバーが集う地域福祉ネットワークに2ヶ月に1回参加し、地域の同業者との交流に努めている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	28	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居予定の方が孫と数回遊びに来られたり、また本人が入居に納得されない時などは、体験デイサービスを数回行い、レクリエーションや好みの物を取り入れたり、さらに入居後は家族に協力してもらおう等、本人が安心して馴染めるような取り組みをしている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	29	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は利用者のこれまでの生活経験を尊重・尊敬しながら共に楽しく過ごしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	35	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者と家族の思いや意向を知る事に努めている。ケアカンファレンスでは本人にとって最良の方法を検討している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	38	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人や家族の要望を聞き、アセスメントを含め職員全員でその人らしく暮らせるような介護計画を作成している。		
19	39	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	期間に応じて見直しを行い、状況の変化があるごとに新たな介護計画が作成されているが、介護計画の実施記録や評価記録がない。		介護計画の実施記録、評価記録を作成する事が望まれる。また、サービス担当者会議にも家族に参加してもらい、現状に即した、利用者や家族の希望を組み込んだ新たな介護計画を作成する事が望まれる。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
20	41	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人や家族の状況に合わせ医師の指示のもと、重度化した利用者には訪問看護を受入れるなどしている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
21	45	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月1回の内科医・精神科医の往診があり、家族の協力で定期的な受診も行なっている。それぞれに応じたかかりつけ医との関係も作りつつある。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
22	49	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>重度化した入居者に対しては、医師・家族と方針について話し合いの場を設けている。医師の指示のもと、訪問看護で点滴を行っている。ケアについても職員全員で情報を共有している。同意書様式の更新準備も進めている。</p>		
<p>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>					
23	52	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>ホーム内での写真掲示は、入居時に同意を得ており、また、家族への送付は、個人写真だけにしている。ケアに関する資料は、入居者の名前をイニシャルにするなど、個人情報の取り扱いには注意をはらっている。</p>		
24	54	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>遅い時間に入浴される方、家族との外出を予定されている方など、団体生活の中でも一人ひとりのペースを優先している。</p>		
<p>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>					
25	56	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>本社から発行されたメニューを参考にし、ホーム独自のメニューづくりに取り組んでいる。今後は、利用者の協力や意向を取り入れた食事を楽しむ工夫を考えている。</p>		
26	59	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>希望者には朝入浴の支援もあり、入浴拒否の方には、以前利用していたデイサービスの入浴に通ったり、地域社協の入浴支援等を取り入れるなど、一人ひとりに合わせた支援をしている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	61	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	カラオケの好きな方、習字・絵画を楽しむ方、片付けをされる方など、一人ひとりの役割・楽しみごとを支援している。		
28	63	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	現在、散歩や買い物が主である。外出できる方が少なく、遠方の外出時はタクシーを利用している。		外出時にリフト車を使用する等、グループ全体で支援する事も望まれる。四季を感じたり、催し物に出掛けたり、利用者の希望に応ずる等、外出の支援を積極的に取組む事が望まれる。
(4) 安心と安全を支える支援					
29	68	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は玄関の鍵をかけずに自由な暮らしを支援している。		
30	73	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	管理者が9月に防火管理者講習を受講予定で、災害訓練を10月に予定している。過去1年間の災害訓練の記録がない。避難方法・場所について提示もない。		訓練の計画や予定をしているが、避難方法・場所についての掲示はすぐにでも取組む事が望まれる。また、災害対策時に地域の協力を得られるように働きかける事も望まれる。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
31	79	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養のバランスを考慮したメニューが本社より配布され、参考になっている。食事・水分の摂取量を、毎回記録している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
32	83	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	皆が集う共用部分(台所・リビング)は、明るく清潔で、外出時の写真や利用者の作品が掲示されており、居心地よく過ごせるよう工夫している。		
33	85	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅より使い慣れたものを持ち込み、本人が居心地よく過ごせるよう支援している。		